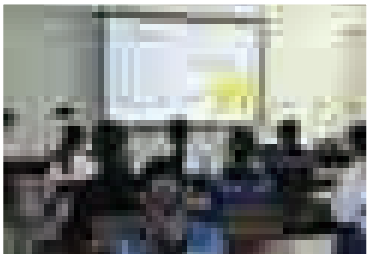
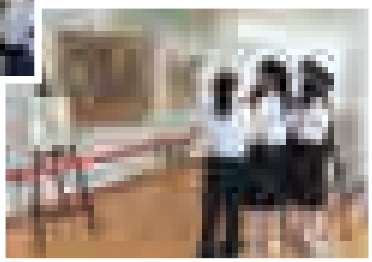
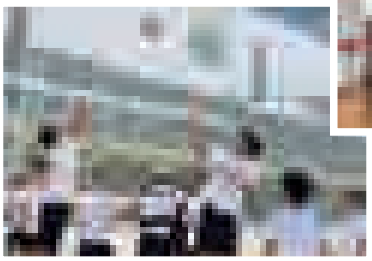
高 岐高だより

第141号

令和２年12月18日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長 笠原 幸治
印 刷／ヨツハシ㈱
題 字／筑間 敏博


▲高校見学会


▲校長室作品校内展示


▲３年次生球技大会

CONTENTS

- コロナ禍でも諦めないで！ 進路指導部 …… p1
- ジョイントセミナーat東大を終えて 進路指導部 …… p2
- 新年度のコース選択・科目選択に向けて 教務部 …… p2
- 充実した高校生活を送るために 生徒指導部 …… p3
- 令和２年度 PSセミナー 渉外部 …… p3
- 1・2年次PTフォーラムについて 1・2年次委員長 …… p4
- 1・2年次保護者の思い 1・2年次副委員長 …… p4
- 文化祭代替行事を振り返って 1・2年次 …… p5
- 球技大会を終えて 3年次 …… p5
- 後期生徒会発足 特別活動部 …… p5
- サッカー部 活動報告 特別活動部 …… p5
- グローバルリーダー養成事業から珠玉の言葉 進路指導部 …… p6
- 基調講演会 進路指導部・同窓会 …… p6
- 『命の尊さ講話』を行いました 生徒指導部 …… p6
- 水泳部 活動報告 特別活動部 …… p6
- 部活動の主な成績・活動状況 特別活動部 …… p7
- 遠足 1～3年次 …… p8
- 芸術鑑賞会 文化副委員長 …… p8
- クイズ研究部 活動報告 特別活動部 …… p8

コロナ禍でも諦めないで！

進路指導部

令和２年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今まで学校生活の中で普通にできたことを中止や変更せざるをえない年となりました。今年もあと１か月となりました。冬休みは短期間ではありますが、これまでの生活を振り返り、「今年の反省」「来年への期待」を念頭に置き、新年を迎えて欲しいと思います。

１年次生は、残念ながら林間学舎、学校祭などの例年の学校行事を経験することができませんでしたが、新しい生活様式の中、岐高での生活にも慣れたことと思います。今年を振り返り、学習面や部活動の面などでさらなる向上を目指して、自分の進路をじっくり考えてください。

２年次生は10月の年次集会で、この時期からの半年が重要な時期だということを理解してくれたことと思います。1月からは、いわゆる「3年0(ゼロ)学期」と呼ばれる時期です。本格的な受験生となれるよう、今の学力を自己分析し、苦手教科をどのように取り組むかなど計画を立てて実行してください。

３年次生は、年が明けると受験本番を迎えます。共通テストを皮切りに、私立大、国公立大の前期・後期と矢継ぎ早に行われていきます。体力とともに精神力も要求されます。今までやってきたことを信じて、強い気持ちで試験に臨んでください。不安な気持ちになっているのはあなただけではありません。「苦しみは山頂の一歩手前」。最後まで諦めてはいけません。みなさんの健闘を祈っています。

2021年 大学入学共通テスト 時間割

期日	教科・出題教科		解答時間・配点・時間割
第1日程 第1日 2021年1月16日(土)	地理 歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	◎２科目選択／120分／200点 ◎１科目選択／60分／100点
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	国語	「国語」	◎80分／200点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	【リーディング】◎１科目選択／80分／100点 【リスニング】◎英語のみ／30分／100点
第1日程 第2日 2021年1月17日(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	◎２科目選択／60分／100点
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	◎１科目選択／70分／100点
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	◎１科目選択／60分／100点
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	◎２科目選択／120分／200点 ◎１科目選択／60分／100点

2021年 国公立大入試日程

大学入学共通テスト(第1日程)出願 2020年10月 → 大学入学共通テスト(第1日程) 2021年1月16日～17日* → 個別(2次)試験出願 1月25日～2月5日 → 前期日程試験 2月25日から → 合格発表3月6～10日(公立大は3月3日～) → 合格 → 入学手続 3月15日まで

前期日程入学手続完了者は後期日程、公立大中期日程を受験しても合格者とはならない。

不合格 → 後期日程試験 3月12日以降 → 合格発表 3月20～23日 → 入学手続 3月26日まで(公立は～27日) → 追加合格決定・2次募集開始(3月28日から)

不合格 → 公立大中期日程試験 3月8日以降 → 合格発表 3月20～23日

追(再)試験(1月30・31日)

→は併願の流れを示す。

※前期日程と後期日程は、それぞれ別に募集人員が設定され、試験から入学手続きまで別々に実施される。これを「分離分割方式」という。両日日程の合格発表を見届けてから入学先を選ぶことはできない。

＊第1日程の追(再)試は第2日程(1/30・1/31)となる。詳細は大学入試センターのホームページ(www.dnc.ac.jp)をご覧下さい。また個別試験の追試については各大学のホームページでご確認下さい。

Webによる

ジョイントセミナーat東大を終えて

今年で第12回を迎えたジョイントセミナーat東大ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1日の日程で本校においてオンラインの形式で実施しました。そのため参加者を1・2年次生から募り、それぞれの進路意識を高めることができるような企画とし、総勢54名の生徒が参加しました。

午前中は国土交通省の寺田氏による講演を拝聴しました。生徒たちは、「苦しい時でも顔を上げて、前向きに」という言葉に刺激を受け、本校OBである寺田氏の経験談から学ぶことや働くことの意義について深く考えることができました。

午後からは、まず東大教授の神原先生による研究紹介のお話を伺いました。専門的な話を聞きながら、大学だからこそできる研究の質の高さを知ることができました。

その後、グループにわかれて本校OB・OGによる東大生と語る会を実施しました。2時間にわたって先輩たちと語る時間を持つことで勉強の仕方や東大生としての考え方、あり方を知ることができました。

今回はオンラインの形式であったため、実際に目の前で体感することはできなかったものの、オンライン上で画面を繋いで語りかけてくださる先輩方の熱意に生徒達は刺激を受けたようでした。

生徒の感想

寺田さんのお話で特に驚いたのが、今までの人生体験のお話で部署が何十個も変わっており、たくさんの経験をされておりアクティブだという面です。それをふまえて、工夫する心やチャレンジ精神の大切さがよく理解できました。また、官僚という大変な仕事の中でのモチベーションの保ち方などがとても参考になりました。自分には問題意識というものがまだまだ足りていないため、もっと「周りを見る」ことから始めていこうと思いました。

本格的な研究室で最先端の研究をされていることがすごいと思った。プレゼンの話を全て理解することは難しかったけれど、プラズマが様々な分野で活かされていることを知ることができ、そういった研究が身近で行われているという環境はすごく刺激的だと思った。自分の行きたい大学はまだ決まっていないけれど、将来自分がやりたいことと大学が取り組んでいる研究などとを照らし合わせながら自分の行きたい大学を決めようと思った。

新年度のコース選択・科目選択に向けて

教務部

本校では将来の進路、適性、希望により、二年次から文系、理系いずれかのコースを選び、学習するように教育課程が編成されています。

新年度のコース選択・科目選択に向けて、学年集会での説明や総合的な探究の時間における進路学習を行ってきました。十一月には仮登録を行い、保護者懇談会を経て、十二月二十五日(金)に本登録を行います。

特に新二年次生は、今後の進路を考えるうえで大きな選択になりますので、しっかり考えて選択してください。

新二年次生

■コース選択

文系コースでは、文学部や法学部、経済学部などの文系学部への進学を目指して学習します。国語や社会の授業時間が多いコースです。

理系コースでは、理学部や工学部、医学部などの理系学部への進学を目指して学習します。数学や理科の授業時間が多いコースです。

■地理・歴史の選択

文系コースでは、世界史Bを必修科目とし、日本史Bと地理Bから一科目を選択して履修します。

理系コースでは、世界史B、日本史B、地理Bから一科目を選択して履修します。

■理科の選択

文系コースでは化学基礎と生物を必修科目として履修します。

理系コースでは、化学を必修科目とし、物理と生物から二科目を選択して履修します。

■コース・科目選択の注意点

コースや科目は、三年次への進級時に変更できません。進路希望を踏まえて慎重に選ぶようにしてください。

■その他の選択

放課後等には、個別のより高度な学習ニーズに対応した自由選択科目を設置し、開講します。詳細については、後日学校より説明します。

新三年次生

■地理・歴史の選択

文系コースでは、世界史Bと二年次で選択している科目を継続して履修します。

理系コースでは、二年次で履修している科目を継続して履修します。それに加えて、世界史Bの履修者は日本史Aと地理Aから一科目を選択して履修し、日本史Bまたは地理Bの履修者は、世界史Aを履修します。

■理科の選択

文系コースでは、生物を継続して履修し、それに加えて、化学基礎と物理基礎から一科目を選択して履修します。

理系コースでは、化学と二年次で選択している科目を継続して履修します。

■その他の選択

個別のより高度な学習ニーズに対応した学校設定科目「特論」を開講し、幅広い教科の中から二科目選択して学習します。

放課後等には、課題探究講座を開講する予定です。詳細については、後日学校より説明します。

充実した高校生活を送るために

生徒指導部より

保護者の皆様へのお願い

生徒指導部では、お子様が安心して充実した高校生活を送ることができるよう、保護者の皆様と連携して指導に当たっていきたいと考えております。これから冬本番を迎えますが、以下のことについてご家庭でのご指導・ご助言をお願いします。

1 自他の生命を大切にすること

❶新型コロナウイルス感染症拡大防止

感染しない・させないために、厚生労働省や県からの通知に注意し、適切に対応してください。同時に、インフルエンザ等の他の感染症防止対策も十分に行ってください。

❷心の健康を保つ

お子様の様子がいつもと異なったり、悩みを抱えている様子があれば、話をよく聞いていただき、必要であれば学校に相談してください。なお、冬季休業中や休日は、下に掲載した電話相談窓口を利用してください。

事故や困った時の連絡先

★事故・事件等
最寄りの警察署生活安全課へ
(緊急時には110番)

★いじめ・悩み・困りごと
(学習・進路)などについての相談
子供SOS24
TEL 0120-0-78310
(夜間・休日・祝日全24時間体制)

❸交通事故防止

今年度10月31日現在、17件の交通事故が発生しています。幸い大きな事故には至っていませんが、重大事故は何としても防がねばなりません。学校でもお子様の交通安全意識を向上させるべく努力しておりますが、ご家庭でも日常的に交通安全・交通規則の遵守についてご指導ください。

◆交差点や丁字路など、道路が合流する地点での安全確認を十分に行う。

◆冬期、道路の凍結など危険度が高まるため、今まで以上に時間に余裕をもって行動する。

交通事故件数（10月31日現在） ※下段は昨年度同時期	
1年次生	9（男8女1） 18（男11女7）
2年次生	6（男4女2） 7（男3女4）
3年生	2（男2女0） 5（男3女2）

❹危険を伴う活動の禁止

冬山登山など、危険を伴う活動は原則禁止とします。

2 家族・社会の一員としての活動

この時期は、年末年始があり、家族や地域社会での行事があると思われます。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止が最優先です。感染リスクの高い活動を避け、お子様が安全に活動できるようご配慮ください。

3 情報モラル

現在、岐阜県立学校では、ICTを活用した探究的な学びを推進しています。このような状況において、情報モラルの意識を高めること、また情報端末の使用時間を適切に管理する能力が一層必要になってきています。

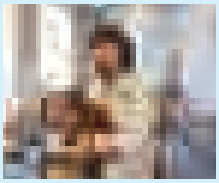
自他の個人情報や、他人の誹謗中傷などをインターネット上に載せないこと、一度載せたものは永遠にどこかに残る可能性があることについては、繰り返しお子様に伝えていただくようお願いします。

令和2年度 PSセミナー

渉外部

PSセミナーも今年で25回目を迎えましたが、今回はコロナウイルス感染拡大防止のために録画された講義を放送し、質疑応答はオンラインで行うという形式で行いました。この講義は生徒の人生観・職業観の育成を図ることを趣旨とし、PTA行事の一環として開催させていただいております。今年のセミナーは、本部役員の方々にはオンラインで受講していただきました。

今年度は「空と塀の中とセラピー犬」「法律で広がる世界」「気候危機の時代を生きる」の演題で、どれも生徒の興味を引くものばかりでした。キャリア教育の一環として、本校生徒の人生観・職業観育成や進路選択の一助をなったことと思います。以下に生徒の感想を掲載します。

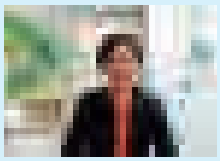


●意外と人生は楽天的に捉えてもいいものかなと感じました。中島先生は医学部に再受験されたり、様々な職に挑戦されたりして、かなり充実した経験をされていると思います。とにかくやりたいことを今考え抜いて、その意思を貫くことが大切なのだなと思いました。途中で上手くいかないことがあっても、すぐにやる気を失わず、別の道を模索したいと思います。

●仕事のやりがいというものは、誰かのために働いて、そのニーズに応えられた時、感謝された時に感じられるということだと改めて思いました。だから職業選択の時に、その仕事が好きか嫌いか、その仕事に向いているのか、時代に合っているのか、その仕事に対する価値観を基準に考えるべきだと思いました。また、自分の小さなを感じた時は「自分の世界が広がった」と肯定的に捉えればよいという先生の言葉に心が軽くなった気がします。

●省エネや地球温暖化防止に取り組むと聞くと、とにかく我慢するというイメージがあり、行政や個人が公共機関以外で介入できる余地はないと思っていました。しかし、今日お話していただいた他国での取り組みを参考にして、自分の立場でできることを考えていきたいと思いました。

●テストや課外活動等でとてもとても忙しい中、なかなか「考え抜く」という時間は取れないと思います。でも、クリティカルな思考にはゆったりとした時間も必要だと感じます。また、外に目を向ける機会というのも自ら創出していかなければなりません。そんなジレンマをどう解決すれば良いのか。それを今から「考え抜き」たいと思います。



セミナー実施後の生徒のアンケートでは、どの生徒も、自身にとって有益な講義であったという肯定的な評価をしており、成功であったと確信しております。多くの保護者の方にご協力をいただき、PSセミナーの目的が果たされたと思っております。

最後になりましたが、講師の方々には講演依頼を快諾していただき、後輩のために貴重な時間を割いていただき感謝申し上げます。またお骨折りをいただいたPTA本部役員の方ありがとうございました。

1年次PTフォーラムについて

1年次委員長　金森　隆

新型コロナウイルスの影響による学校臨時休業により、例年4月に実施しているPTA総会が中止されたため、入学以来初めての本格的なPTAの行事となったPTフォーラムを9月25日に行いました。本フォーラムは『岐高生になる、岐高生の親になる』をテーマにし、岐高を卒業されたお子様をお持ちの大橋聡子先生、小野浩志先生から教員として、また親として見た岐高生の『生の生活』を多数の体験談を交えてお話ししていただく中で、岐高生の親としての心構えや子供との接し方のヒントをいただきました。また、進路指導部長の立川喜教先生からは、国語と数学の記述式問題の採用が見送られるなど変化が激しい大学入学共通テストの動向など進学に関するお話、生徒指導部長の杉山晴美先生からは高校生になったとはいえ、まだまだSNSなど情報端末の使用に潜む危険への意識が低い子供への声のかけ方など大変貴重な情報をいただくこととともに、1年次主任の太田晶子先生から1年次生の学校での生活状況を伺い子供たちの成長も知ることができました。

今回のPTフォーラムは感染症対策としてウエブ会議システムを使い、メイン会場の映像を各ホームルームへ配信する方法で行われました。途中音声が途切れるなどトラブルがあり、オンライン授業をされていた先生方の大変なご苦労の一端を体験し、子供たちへの手厚いご支援に益々感謝する機会となりました。

2020年入学

1年次副委員長　操　奈美

早いもので、気づくと今年も最後の月となりました。「娘が高校生となる年は、ちょうど東京オリンピックの年だから、記憶に残りやすいかな。」と思っていたら、オリンピックは延期、高校生活は全国一斉休校の中で始まることとなりました。そのせいもあるのでしょう、なんとなくぼんやりと始まった高校1年生の生活が、もう後3ヶ月ほどしかないなんて、月日が経つのは本当に早いなあと感じます。

新規感染症の広がりが懸念される中、多くの行事が中止となり、子どもたちは思っていたような活動ができないこともあったと思います。また、想定外の事態のなかで学校生活を営んでいただくことは、先生がたに如何ばかりのご負担をおかけしていることだろう、とも想像いたします。

そのなかでも、今、子供達は戸惑うことなく充実した高校生活を送ることが出来ています。新しい出会いの中、学ぶことの多い日々を過ごさせていただいていると、子を見守る親として幸せに感じています。この楽しい高校生活は、岐阜高校の先生がたのひとかたならぬご尽力のお蔭であると、保護者の一人として深く感謝しております。

COVID-19がもたらした社会の変化は、歴史に残るかもしれません。そうであれば、何年後かに2020年を振り返った時、「この年に高校生になったよね」とより鮮明に今の生活を思い出すのかもしれません。そんな時に心の糧となるような、充実した高校生活となるよう、皆元気に過ごしていけることを願っております。

AIと人間知能と集中力

2年次委員長　折居　恒治

今年のPTフォーラムは「ベストな進路選択のために」というテーマで、河合塾の西山武志氏にご講演いただいた。講演の中で、近年の大学や学部選択においてはAIによる傾向と対策がなされているという一節があった。

AIというと将棋や囲碁の最強名人を打ち負かした話や、自分に合った生命保険のチョイスや、癌など医学的診断での取り組みも進んでいる。AIは与えられた課題について大量の情報から極めて速い処理速度で結果を出す。一方、岐高生も学習レベルを一段上げるには、決められた大量の学習内容から、大学進学という課題の解決に、処理速度(＝集中力と反復学習)を上げる必要があるが、ヒトが高い集中力を維持できるのは四時間程のようだ。それではAIにかなわないかもしれないとも思うが、勝負はヒト同士と見方を変えて四時間をいかに高い集中力で、効果的に使うべきかという議論が本筋だろう。

集中力は、強い緊張状態(＝ストレス)を生み出す要因(例：進路目標)をポジティブにイメージし、そこから深呼吸やルーティン動作等のリラックスにより高い集中(ゾーンに入る)が得られるとされる。一流のスポーツ選手が典型例で紹介されているが、実は私達もこうすると良く勉強や部活に没頭できるとか、調子を上向かせるコツ等として意識的にやっているのだ。これからさらに効果的な学習のために取り入れることも充分可能と思う。科学の知識も学習法に還元できるのだと考えさせられた講演であった。

心にあかりを灯して

2年次副委員長　萩野　順子

新型コロナ第三波到来のニュースに不安な日々が続き、本来ならクリスマスに華やぐ時期も今年は全てがささやかで控えめであると感じます。

今年度のPTA活動も縮小や中止がありましたが、感染対策を施し開催した「PTフォーラム」はとても有意義なものでした。先生方からは前向きな言葉をいただき、同じクラスの皆さんとは「子どもが自分の将来をどう考えているのか」「親はどんな言葉をかけて導けばよいのか」と心配や悩みを語り合い、問題を共有でき、きたる三年0(ゼロ)学期への心構えも持つことができました。

自分が変わらないのに、我が子には何かと変われと言い聞かせて大きな矛盾を感じていた私も反省できました。

生徒の皆さんには、夏以降も様々な学校行事がなくなり、辛い思いがたくさんあったと思います。新型コロナの影響を受ける今年度の事は必ず長く記憶に残ると思いますが、これからも「可能な限りの楽しい高校生活を創り出した」と振り返って笑える様な日々を過ごしてほしいと願っています。

経験した事がない事にも慌てず対応する力「生きる力」をもつ人が求められる今、岐高生の皆さんの「前へ」と進む姿を見守る事を楽しみにしています。

まだまだ一人一人が不自由を感じながらも努力するしかない状況ですが、息子の幼稚園時代に教会で教えられた言葉「暗いと不平を言うよりも進んであかりをつけましょう」を大切にしながら、笑顔で過ごしていきたいと思います。

岐高祭代替行事
～動画制作・鑑賞会を振り返って～

1年6組　小島　理貴・長屋　晃生

新型コロナウイルスの影響で岐高祭が中止となり、どこか物足りないと感じていた私たちの心のモヤモヤを、この行事は払拭してくれました。

私たちのクラスは、6つのグループに分かれ、それぞれ一つずつ有名映画のパロディ動画を作成しました。最初はなかなか撮影が進まず不安なところもありましたが、最終的には、撮影の楽しさのあまりに気が付けばあっという間に動画が完成していました。この動画制作では、仲間との友情が深まり、皆で一つの物を創造することの大切さを学びました。鑑賞会は、撮影を思い出し、終始笑顔が絶えない楽しい時間となりました。また、私たちの作品は他クラスからの評判も良く、大変満足のいく結果となりました。

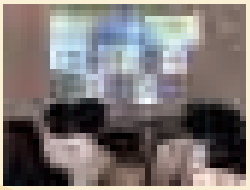
この行事は、コロナ禍に負けず、仲間と協力して過ごした忘れられない思い出です。

岐高祭代替行事を振り返って

2年4組　池戸　優輔

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で岐高祭がなくなり、みんなの気分も落ち込んでいた中、代替行事として2年次生では「ユーチューバーになろう」が行われました。どのグループの映像作品も完成度が高く、それぞれの個性が出ている素晴らしいものだと感じました。

動画作成の準備をするにあたって、仲間と意見を出し合い、笑顔で活動する姿が多く見られました。そのような、企画に対して全力で楽しもうとする姿からも、岐高生の前向きな気持ちを感じた気がします。クラス内での鑑賞では、それぞれの映像作品に込められた思いと多くの時間を費やして努力していた仲間の姿が目に浮かびました。行事が少なくなった中で、最高の思い出になったと思います。そして、ここまで一生懸命になれる岐高生だからこそ、来年度は岐高祭が開催できることを願い、楽しみにしています。



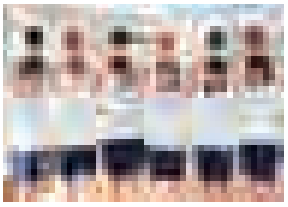
球技大会を終えて

3年8組　間宮　千景

新型コロナウイルスにより多くの活動に制限がかかる中、コロナ対策のもと球技大会を開催する事が出来ました。

年次ごとの開催により昨年までと比べると小規模ではありましたが、今年初となる大きな行事に向け、優勝を目指し練習に取り組む姿がみられました。正々堂々と戦い応援し合うことで一体感のある球技大会となりました。また、準備、審判をはじめ運営に欠かせない役割を自分達で担い生徒主体で進行できました。

まだまだ社会に不安が残る今、私達3年生にとって高校最後の年に仲間と共に励み悔しさや喜びを共感できた事はかけがえのない思い出です。開催にあたり多大なご協力、ご配慮いただいた全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



後期生徒会発足

後期生徒会長　谷　仁美

上段左から

会計	書記	会計	書記
宇野美桜（1－1）	兼村真拓（1－1）	石井遥尊（1－7）	横畑憐治（1－7）

下段左から

会長	副会長
谷　仁美（2－8）	鷲見幸太朗（2－7）

日頃より生徒会にご協力頂きありがとうございます。

さて、この度無事に後期生徒会が発足しました。後期も個性的な6人が集まったと思います。後期は前期と比べやや大きな仕事は少ないですが、その分余裕があるため、積極的に皆さんの声に応えていけると思います。何か生徒会に要望がありましたら、是非ご意見ボックスや生徒会室に気軽にお寄せください!生徒会は生徒のためにあるものです。役員全員で一丸となって皆さんのために働いていきたいと思います。それでは後期生徒会にご協力よろしくお願いします。

サッカー部　活動報告

部長　柴田　拓希

私たちサッカー部は、部員総勢四十二名で県大会優勝、全国大会出場を目標に活動しています。昨年度、岐阜県二部リーグ（G2リーグ）において優勝し、念願の一部リーグ（G1リーグ）への昇格を果たしました。今年度はコロナ禍の中で、満足のいく練習ができず、リーグ戦も延期となってしまいました。八月末にようやくG1リーグが開幕し、十一月末時点での成績は一試合を残し二勝六敗の十チーム中九位と苦戦しています。県内の強豪チームの技術の高さ、球際の強さを体感し、苦戦しながらも一試合ごとに確実に成長しているのを感じています。

また、ピッチの外においても、スカウティング係が次の試合の対戦相手の特徴を分析して部員に共有し、学習係が部員の学習時間を管理して文武両道の実践に努めさせるなど、部員一人一人が主体となってチームのために活動しています。十月に行われた高校サッカー選手権の県予選では、ベスト八をかけた試合で各務原高校に敗れてしまいました。この悔しさを決して忘れず、新人戦やインターハイにおいて目標である県大会優勝を果たすため、一戦一戦を大切にし、日々の練習に妥協せず取り組んでいきます。

グローバルリーダー養成事業から珠玉の言葉

職業・学問体験プログラム　政治経済系　9月18日(金)

●講師…藤井聡氏
（京都大学大学院工学研究科）

★日本がこれから歩むべき道について

1デフレという病

デフレ脱却なしに更なる日本のあらゆる側面での発展は期せず、速やかにデフレ脱却の為の財政政策が行われなければならない。具体的には消費減税と財政支出の拡大である。

2消費税という欠陥税制

消費税とは欠陥税制であり、それは国民を苦しめ、日本経済を破壊する以外の何物でもない。少なくともデフレを脱却するまでの間、消費税を凍結することが求められる。

★今すべきこと

1「デフレ脱却までの消費税の凍結」

2「所得の補償」（国民全員に所得の一定割合を補償。同時に財政規律の解除。）

3「国土強靭化への投資」（あらゆる災害への備えの強化。国土構造の分散化。それに伴う財政支出の拡大。）

これらを実行すれば、経済が回復し、国力が増強し、国民の幸福と、国家の自存独立が長期的に確保される。

基調講演会

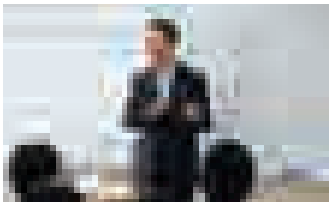
十月六日(火)

●講師…林信秀氏(みずほ銀行常任顧問)

グローバルリーダー養成事業の中核を担う基調講演会。本年度は講師に林信秀様(みずほ銀行常任顧問)をお迎えして行われました。林様は、1975年に本校を御卒業なさいました。なお、今回の講演会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、一部の生徒以外はオンラインを使用して教室で視聴しました。また、講演会終了後には、感染症予防の対策を講じながら、希望者対象の座談会も実施しました。

ドラマ「半沢直樹」の興奮冷めやらぬ時期に行われた講演会でしたが、林様のお言葉からは、ドラマを凌駕するほどの熱い情熱が迸り、世界を舞台にご活躍なさる方の気概に圧倒されました。

林様は、ご自身の2度にわたる海外赴任のご経験や、最近の国際会議への参加のご経験から確信を深められた「Something different , Something new」と「百折不撓」という二つのキーワードを中心にお話をされました。「自ら考え自ら人生を切り開く人が生き残る」「人生に失敗はつきもの　失敗を恐れないで挑戦を」などの熱いエールに、多くの生徒が感銘を受けました。



『命の尊さ講話』を行いました

生徒指導部

～自分らしく、多様な社会へ～LGBT、性の自認と指向～

講師　ブルボンヌ氏(平成2年本校卒)

目的　生徒の自己肯定感を高めると同時に、様々な違いを持つ自他の個性を認め合い、自他の命を尊重する態度を醸成する。

11月5日(木)、グローバルリーダー養成事業の一環として、本講話を実施しました。講師のブルボンヌ氏は、女装パフォーマー、エッセイストとしてLGBTや性の問題をテーマに幅広く活躍しておられます。この講話により、人の性の多様性を正しく理解する機会を持つことができました。また、性自認を含めた人それぞれの違いを認めることで、自分自身のことも認められ、自己肯定感が増すと伝えていただきました。自分のオリジナルの魅力を発揮していってほしいという先輩からの温かいエールに、生徒は勇気をもらいました。

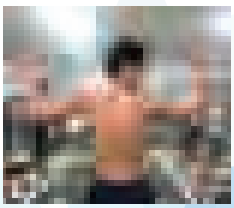
水泳部 全国高校総体出場 県総体リレー3位

今年はコロナ禍で水泳部も練習環境に苦しみました。休校が決まってからは朝7時半から1時間のZoomを使ってのオンライン筋トレを行い、水泳に必要な体力とモチベーションをなんとか落とさないようにすることができました。そんな苦労もあり学校再開後は以前より毎回の練習をとても大切に行うことができるようになりました。

例年より2か月遅れて開催された県高校総体では3年生の安藤響平が自己ベストを大きく更新し、見事に全国高校総体の出場権を得ました。また2つのリレー種目でも強豪校と競り合い見事3位になりました。岐阜高校が県総体のリレー種目で表彰台に上がったのは史上初めてのことです。

3年6組　安藤　響平

高3の最後の最後で全国高校総体と国体のタイムが切れたのは本当に嬉しかったです。広背筋や大胸筋を育てた甲斐がありました。欲を言えば全国大会は通信になってしまったので他県の速い人たちと横で並んでレースをしたかったです。今まで関わってくれた全ての人に感謝しています。本当に楽しい部活でした。ありがとうございました。



2020年度 部活動の主な成績・活動状況

12月4日現在

体育系

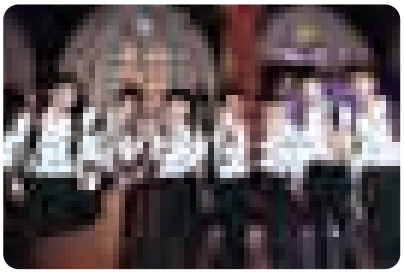
部名	活動・試合結果など
硬式野球	**夏季県高等学校野球大会** 1回戦　岐阜 11−4　羽島・山県 2回戦　岐阜　5−12　富田 **令和２年度秋季県高等学校野球大会岐阜地区予選** 岐阜　8−3　羽島北 **令和２年度秋季県高等学校野球大会** 3回戦　岐阜　0−3　岐阜城北
陸上競技	**令和2年度県高校新人大会** 男子　中島(2年)200m　第4位 葛谷(2年)800m　第7位 北川(2年)ハンマー投　第7位 船渡(2年)大洞(2年)中島(2年)小森(2年)4×100mR　第3位 女子　青木(2年)400mH　第3位 **令和2年高校駅伝大会** 男子　第14位　　女子　第8位
サッカー	**G1リーグ2020** 岐阜　3−4　中京学院中京　　岐阜　1−5　帝京大可児B 岐阜　1−2　各務原　　岐阜　0−1　長良 岐阜　1−5　FC岐阜U18　　岐阜　1−3　関商工 岐阜　2−0　県岐商　　岐阜　1−0　大垣工業 **第99回　全国高等学校サッカー選手権岐阜県大会** 3回戦　岐阜　2−0　羽島北　4回戦　岐阜　1−4　各務原 **G3リーグ2020** 岐阜　0−4　岐阜第一　　岐阜　0−3　長良C 岐阜　0−2　県岐商B　　岐阜　1−0　富田 岐阜　4−3　岐阜聖徳学園
バレーボール	**令和2年度5校リーグ** 男子(本校・岐阜北・長良の3校で実施)　2勝2敗 女子(本校・岐阜北・長良・加納の4校で実施)　0勝3敗 **全日本バレーボール選手権大会県代表決定戦** 男子　岐阜　1−2　大垣南(1回戦敗退) 女子　岐阜　0−2　大垣南(1回戦敗退)
バスケットボール	**令和2年度県高校選手権大会** 男子 1回戦　岐阜　119−17　恵那南 2回戦　岐阜　87−52　東濃実 3回戦　岐阜　76−69　大垣東 4回戦　岐阜　95−60　羽島北 準々決勝　岐阜　63−93　高山西 ベスト8 女子 1回戦　岐阜　66−46　羽島北 2回戦　岐阜　88−32　土岐紅陵 3回戦　岐阜　24−75　岐阜総合 ベスト16
ソフトテニス	**地区新人戦** 男子個人戦　永田・川村ペア、林・髙本ペア　　ベスト16 女子個人戦　笠原・早野ペア、佐竹・安田ペア　ベスト32 **県新人大会** 男子団体戦　海津明誠　3−0　大垣工業　0−2 女子団体戦　多治見　0−3 男子個人戦　林・髙本ペア　ベスト32
水泳	**県高校総体** 男子　50m自由形　　優勝　安藤(3年)　　全国大会標準記録突破 男子200m自由形　　3位　堀(2年) 男子200mバタフライ　3位　伊藤(1年) 男子400mリレー3位　高橋(2年)堀(2年)山田(2年)安藤(3年) 男子800mリレー3位　堀(2年)山田(2年)高橋(2年)安藤(3年) **岐阜県選手権**　男子50m背泳ぎ　優勝　奥村(1年) **全国通信大会**　50m自由形　出場　安藤(3年)
卓球	**新人大会県大会** 男子団体　2回戦　岐阜　3−1　斐太 3回戦　岐阜　0−3　関商工 女子団体　1回戦　岐阜　3−1　大垣北 2回戦　岐阜　3−2　東濃実業 準々決勝　岐阜　2−3　長良 5〜8位順位決定リーグ 岐阜　3−1　加茂農林　　岐阜　2−3　飛騨高山 岐阜　2−3　大垣日大　　県7位
バドミントン	**新人大会岐阜地区予選**　男子団体　5位　　県大会へ出場 女子団体　準優勝　　県大会へ出場 **新人大会県大会** 男子団体　ベスト16 女子団体　ベスト8 女子個人　ダブルス　桑坪(2年)・寺島(1年)　ベスト16 シングルス　桑坪(2年)　ベスト16
柔道	**岐阜地区柔道新人戦予選**　無差別級　準優勝　江崎(2年)
剣道	**第68回岐阜県高等学校総合体育大会** 男子 1回戦　岐阜1−3大垣商 女子 1回戦　岐阜3−0関 2回戦　2−0東濃実 準々決勝　0−5県岐阜商　ベスト8 **第59回岐阜地区高等学校総合体育大会** 男子　1回戦　岐阜2−2岐阜東(本数勝ち)　2回戦　0−2県岐阜商 女子　予選リーグ　2勝1敗 **第66回岐阜県高等学校剣道新人大会** 男子　1回戦　岐阜0−3可児工 女子　1回戦　岐阜2−2関(本数勝ち)　2回戦0−3高山西
軟式野球	**2020 夏季岐阜県高等学校軟式野球大会 予選トーナメント** 1回戦　岐阜　9−5　恵那農業 2回戦　(出場辞退) **第59回 岐阜地区高等学校総合体育大会 軟式野球の部** 岐阜　1−12　県岐商 岐阜　10−11　岐阜聖徳 **第69回 岐阜県高等学校軟式野球秋季(新人)大会** ２回戦　岐阜　2−1　岐阜聖徳 準決勝　岐阜　0−9　中京 ３位決定戦　岐阜　1−3　恵那農業
テニス	**新人戦県大会**　男子団体　ベスト8　女子団体　ベスト16 男子シングルス　神田　(1年)　出場
ハンドボール	**令和２年度岐阜地区高校総合体育大会** １回戦　岐阜　12−15　岐山 **令和２年度岐阜県高校新人大会岐阜地区予選** 岐阜　9−28　加納

文化系

部名	活動・試合結果など
美術	**令和２年度岐阜地区高等学校美術工芸展**　優秀賞　畠平(2年)　奨励賞　森(2年) **令和２年度岐阜高等学校総合文化祭美術工芸展**　出品　畠平(2年)　森(2年) **令和2年度各務原市高校生美術展**　入選 丹羽(2年)谷口(1年)準入選 杉山(2年)共同制作 **デッサンあ「石膏像メディチ」展示**
書道	**第44回全国高等学校総合文化祭高知大会岐阜県代表**　牧村(2年) **第29回国際高校生選抜書展**《書の甲子園》 個人の部　入選　廣瀬(2年)　牧村(2年)　奥田(2年) **令和２年度岐阜県高等学校総合文化祭書道展**　最優秀賞　廣瀬(２年) **第18回瑞穂市美術展** 市展賞　奥田(2年) 教育長賞　深尾(2年) 奨励賞　牧村(2年)　新井(1年)
演劇	**令和２年度第68回岐阜県高等学校演劇大会岐阜地区大会** 「獅子(レオ)の最終定理(ラグナロク)　第1話戦いmath !」(ねぎとろとろり作)上演
音楽	サラマンカ少年少女合唱団「COROフェス2020」参加 「Nコン2020　みんなのハモリ場・かたり場」参加(動画) 岐阜県高等学校総合文化祭　連合音楽会参加 カナダ選手への応援メッセージ「カナダ国歌(フランス語版)(バイリンガル版)」に参加(動画)
文芸	全国総合文化祭の部誌部門と小説部門に参加(作品交流のみ) 9月に県文芸コンクールに応募予定の作品を収めた部誌を発行。 現在は3月に発行予定の部誌を新企画を打ち立て鋭意作成中。
茶華道	(茶道)裏千家の茶道に親しんでいます。今年は、文化祭の中止で恒例のお茶会が実施できませんでしたが、10月に保護者の方を招いた内輪のお茶会を企画し日頃の成果を見てもらいました。 (華道)伝統ある華道則天門の教えに従って、花材を自然な姿を大切にして生けています。
自然科学生物班	**第29回岐阜県高等学校総合文化祭 自然科学系部活動研究発表交流会** 「環境DNAメタバーコーディング解析を用いた生物モニタリング　〜長良川・揖斐川の魚類調査〜」 最優秀賞(第1位，来年度の全国高等学校総合文化祭への出場が内定)
自然科学物理班	**第29回岐阜県高等学校総合文化祭 自然科学系部活動研究発表交流会** 「熱による磁束密度の特性について」　奨励賞
自然科学化学班	**第29回東海地区高等学校化学研究発表交流会** 「高吸水性ポリマーを利用した水溶液の硬度測定」優秀賞(東海5県で首位) 生駒、杉山、篠田、岩島(2年) (3月に行われる関東ブロック化学クラブ研究発表会での招待講演決定) **第29回岐阜県高等学校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会** 「高吸水性ポリマーを利用したアルコール精製」優秀賞(化学部門1位) 長井、辻、杉尾、松永(1年)　(来年度の全国高等学校総合文化祭への出場が内定)
ESS	うかいボランティアを行うことはできませんでしたが、校内で英語を使ったゲームや文化理解活動、英語で日記を書くジャーナル・プロジェクトなどを行いました。また、第5回高校生英語プレゼンテーション大会参加に向けてプレゼンテーションを作成しました。
調理	季節の料理とスイーツを考え、製作しました。
写真	**県コンテスト写真展** 優秀賞　藤澤(2年)　千種(2年)　←全国和歌山総合文化祭出場決定 奨励賞　荒井(3年)　野田(2年)　祖父江(2年)　石井(1年)　加藤(1年)　古田(1年)　三原(1年) **岐阜県総合文化祭写真展** 優秀賞　深尾(1年)　←全国和歌山総合文化祭出場決定 奨励賞　林田(2年)　岡田(2年) **各務原市展** 奨励賞　田中(1年)　加藤(1年) 入選　荒井(3年)　祖父江(2年)　野田(2年)　篠田(2年)　糟(1年)　深尾(1年) 準入選　吉田(2年)　藤澤(2年)
囲碁・将棋	県新人大会　男子個人戦　ベスト8　橘(2年)
吹奏楽	岐阜5校　吹奏楽ジョイントコンサート参加 公共交通フェスタ2020参加 岐阜県高等学校総合文化祭　吹奏楽発表会参加(動画) 都ホテルクリスマスイベント「Re:」参加(動画)
クイズ研究	**第3回ニュース・博識甲子園**　第一次予選全国9位(第二次予選進出) **第40回全国高等学校クイズ選手権大会岐阜県予選** 第1位 Bチーム、第2位 Aチーム、第3位 Cチーム(Aチームは全国大会出場)
チアリーダー	今年は、野球応援や文化祭でのパフォーマンスを行うことができませんでした。その代わり、ダンス動画を作成するなどコロナに負けず活動しています。

局

部名	活動・試合結果など
図書	図書館でカウンター当番や図書だよりの作成、館内のディスプレイを行っています。 11月に店頭選書を実施し、3月には「図書館報」を発行します。
放送	校内の活動として、お昼の放送などを実施しました。
家庭クラブ	6・7月　千手堂病院ボランティアとして、マスクを手作りし、寄贈しました。
英語科	**令和2年度学力向上総合推進事業『岐阜県高等学校スピーチコンテスト』県大会** 出場　岩下璃乃(１年)
海外研究	今年度は残念ながら全日本大会出場がかないませんでした。来年度の出場に向けて練習大会への参加を中心に活動を継続しています。



遠足の思い出　1年4組　HR運営委員（4名）

私たち1年次生は明治村と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館へ行った。天気は快晴。私たちを最高の景色とともに迎えてくれた。明治村には昔のおもちゃや機械、レンガ造りの建造物などがあり、現代ではめずらしい様々なものを見たり触れたりすることができた。また、古風な街並みは現代にはない落ち着きを感じさせてくれた。明治村とうって変わり、航空宇宙博物館では近代的な航空機がひしめき合って展示されており、そのスケールの大きさに圧倒された。コロナ禍の中で行ったからこそ、この遠足の思い出は深く記憶に残るだろう。この遠足のためにいろいろな準備をしてくださった方々に対して、感謝の気持ちを忘れないでいようと思う。

人のあたたかさ　2年1組　傍島　茉理

私たち2年次は郡上八幡城下町へ行った。今年の遠足はあいにくの雨。ところが到着すると一変、雨さえも景色の一部のように感じられる情景がそこには広がっていた。趣が感じられる建物、木々…言い表しようもないその美しさに圧倒された。しかし、なんとも驚かされたのは人の温かさだ。お店に入ると、店員さんが優しく話しかけてくださる。また地元のお客様と店員さんの会話があたたかい。本当に人情あふれる街だと感じた。

この状況下、行事ができずにクラス解散を迎えると思っていたが遠足の愉悦に浸ることができた。私たちのために動いてくれる人がいることの有難さを痛感した一日だった。

遠足の感想　3年4組　山口　響

今年度は様々な行事が中止や延期になってしまい、遠足も例年とは異なり行き先が明治村と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館になりました。行き先が変更になった時こそ驚きの声は少しありましたが、実際行ってみれば多くの人が遠足を満喫していました。限られた時間の中で、明治時代の雰囲気を感じたり、航空宇宙の最先端に触れる中で、みんなの顔には笑みが浮かんでいました。私はみんなと美味しいものを食べたり、たくさん写真を撮りながら楽しみました。受験勉強に追われて辛い時期を過ごす私たちにとって遠足はかけがえのないものになりました。残り限られた高校生活という「青春」を大切にしていきたいです。

芸術鑑賞会

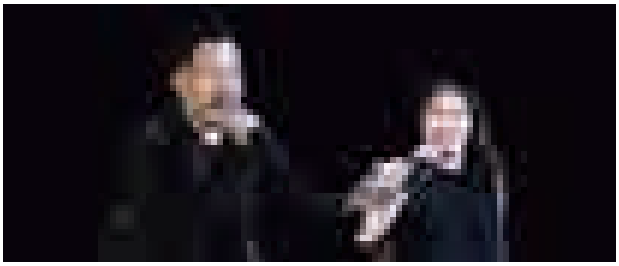
文化副委員長　小林　美咲子

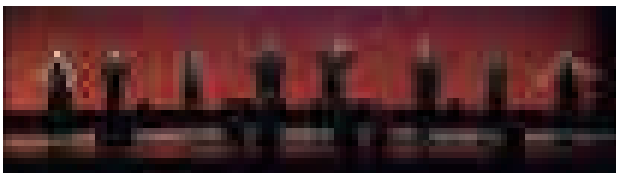
魂で歌う。合唱でもアーティストの曲でも味わえない、ゴスペルの魅力にあふれた時間でした。

私はグレイテストショーマンが好きだったので、特に〝This is me〟が聴いていてわくわくしました。8人という少人数を思わせない迫力のある歌声、熱気の中にある優しさに包まれているような感覚におちいり、とても満たされた気持ちになれました。

また、アカペラで歌った時の声のハモりがとても美しく、ずっと聴いていたいと思わせるような演奏でした。

コロナが人々を制限するこの時代において、新しいコンサートの形を模索しながら私たちに歌を提供しようとしてくださる姿からパワーを感じ、強く生きなくてはいけないと改めて思いました。





クイズ研究部　活動報告

部長　牧　レオナ

8月22日に行われた第3回ニュース・博識甲子園第1次予選において、岐阜高校Aチーム（2年牧・2年関谷・2年永田）が全国9位の成績を収め、第2次予選に進出しました。

11月3日に行われた第40回全国高等学校クイズ選手権全国一斉予選において、岐阜県1位（1年大野・2年永田・2年藤田）、2位（2年牧・2年永井・2年関谷）、3位（2年安藤・2年吉田・2年吉村）をクイズ研究部が独占しました。また、代表決定戦にて予選1位の大野チームが岐阜県代表に決定し、12月11日放送の全国大会に出場しました。これにより、第29回大会から続く岐阜高校の高校生クイズ全国大会連続出場記録は12となりました。

以上が近況報告となります。今後の活動につきましては、12月13日に開催されるエコノミクス甲子園岐阜県大会と12月20日に開催されるAQL団体戦が主となります。エコノミクス甲子園においては、第9回大会から続く岐阜高校の岐阜県大会連続優勝記録の更新を、AQLにおいては、昨年度の順位である4位以上を狙い、全国大会に進出することが目標です。